

# タンゴとサッカーの国・アルゼンチン



11月5日（水）、南大津公民館で国際理解出前講座「タンゴとサッカーの国・アルゼンチン」を開催しました。受講者はふだん公民館で英語を勉強している方が中心で、アットホームな雰囲気講座になりました。

英語を勉強されたり、海外旅行によく行かれている受講者が多く、英語とスペイン語の比較や、日本で使われているスペイン語の紹介を、皆さん、とても興味深く聞いておられました。

また、あまり情報を得ることが少ない国のため、街の様子や観光地のお話がとても新鮮でおもしろかったようです。

特に講師のアリシア先生の子どもの頃のアルゼンチンの学校の話、また現在の学校生活の話には、たくさん質問が出ました。「留年するといわれたが、小学生でも留年するのか？」という質問に「もちろん、小学生も留年します」と答えられて、皆さん、驚いておられました。

また、学校は午前、午後の2部制であることや、日本のような担任制度がないことなど、多くの違いがあることがわかりました。

最後の食文化についてのお話では、参加者から「魚は食べるのか?」「野菜は何を食べるのか?」などたくさんの質問が出て、時間がオーバーしてしまうほど。参加者は「今まで知らなかった国がとても身近に感じられ、とても楽しかった。」という感想を述べておられました。

スペイン語	英語
información	information
oficina	office



日本で使われているスペイン語
Alba
Tanto
Gusto
Amigo などなど



«「南米のパリ」と言われる美しい街並み»

